

# 新たな病院長が就任しました

市民病院は前任の病院長の退任に伴い、本年度より新たな病院長が就任しました。新病院長の杉浦誠治先生にお話を伺いました。

## ◎出身やこれまでの経歴を教えてください

**A** 碧南市出身です。

当院が1988年5月に開院し、その翌年4月から研修医として勤務しました。研修終了後は引き続き内科で勤務し、1993年4月から名古屋第一赤十字病院（現 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院）、1996年7月から名古屋大学医学部に勤務、1997年10月に当院に戻り現在に至ります。



## ◎専門分野を教えてください

**A** 専門は呼吸器内科です。

肺がんや気管支喘息、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、間質性肺炎や気胸などを中心に診させていただいております。最近では新型コロナウイルス感染症の治療や感染対策などの対応を市、保健所、医師会をはじめ関係機関と連携して行っています。

## ◎趣味や特技はありますか

**A** 趣味は合唱、特技は合唱指揮です。

最近では合唱活動をしていませんが、碧南市制45周年記念第九演奏会後に発足した碧南混声合唱団の初代団長を務めさせていただきました。

## ◎これからの市民病院の目指す姿を教えてください

**A** 当院は、市の公立病院として、市内の医療機関と連携しながら救急医療、急性期医療の中心的な役割を果たしております。今後は、少子高齢化などの社会情勢の変化を見据え、医療DX（デジタル・トランスフォーメーション）といわれるデジタル化などにも迅速に対応し、市民の皆さんの期待に応えてまいります。また、地域の介護施設や福祉施設との連携も促進し、病院の機能分担を明確にする中で、地域に求められる医療機関を目指します。そして、「温かな心のこもった医療の提供」という当院の基本理念を職員全員が共有し、更なる病院機能の維持と医療の質の向上を目指します。

## ◎市民の皆さんへ一言メッセージをお願いします

**A** 市をはじめ、関係機関ともしっかり連携した上で、市民や地域住民の皆さんが気軽に利用できる病院づくりを行っていきます。ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

